

金武町議会報



きんえん

第135号

発行：平成25年12月18日

均 霈



○懐かしい風景シリーズ

牛納（終戦まもない頃）

主な内容

一般質問..... 2～13P

与儀実栄 / 吉野 潤 / 仲間政治 / 外間慎仁

池原政文 / 大城政光 / 安富信武 / 大城一之

崎浜秀幸 / 嘉数義光 / 伊芸 孝 / 仲間昌信

平成25年第5回定例会議決結果 14～15P

平成25年第6回臨時会議決結果 16P

その他・傍聴案内 16P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成25年第5回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



与儀実栄 議員

漁家(漁業従事者)の
育成について

漁民の所得向上を

図る具体策は

町 長

金武町漁船燃油補助金
交付規則を制定、稚魚
の放流、大型定置網等
購入補助

与儀議員

町の漁民は、パ
ヤオ漁や定置網、モズク、
海ブドウの養殖等沿岸漁業
が主ですが、燃料の高騰に
よってパヤオへの出漁もま

まならない状況です。また、
金武湾内や沿岸の魚も減少
の一途であり、そのような
現状を打開し、漁民の所得
向上を図る具体策はどうあ
るべきか。

儀武剛町長

漁民の所得向

上を図る支援として、1つ
目に、燃油価格暴騰を受け、
漁民の燃油購入費に対して
補助金を交付するため、平
成20年度に金武町漁船燃油
補助金交付規則を制定し、
実施している。2つ目に、
金武湾の資源減少の対策と
して、平成17年度から稚魚
の放流事業を通し、湾内の
資源回復に取り組んでいる。
3つ目に平成22年度から平
成23年度にかけ、大型定置
網、網洗機、冷蔵庫トラッ

ク等の購入補助を実施し、
漁民の所得向上や漁獲高の
向上につなげているところ
です。今後も引き続き、漁
業経営安定のための放流事
業等を実施するとともに、
新たな中層浮漁礁の設置に
向けて取り組む。

与儀議員

1人当たりの年

間収入額を把握しているか。
年間所得の構想的なものを
策定しているか。

池原均産業振興課長

個々

の組合員の水揚げ高というの
は、組合自体がデータをしっ
かり出されていないという
事がある。そういった組合

※金武町漁船燃油

補助金交付規則

急激な燃油高騰を受け、
漁家経営の安定を図るこ
とを目的に、漁を行う漁
家の漁を行うための漁船
に使用する重油購入費に
対して、補助金を交付す
ることを目的としている。

のほうでリードすれば、あ
る程度目標値が立てられる
が、今のところそういった
事がないので、我々として
は目標は持っていない。

与儀議員

漁業の形態も毎

年変わっていくと思うが、
金武湾という素晴らしい海
洋資源があるので、貝の養
殖や魚の養殖、観光産業も
力を入れてはどうか。

産業振興課長

獲る漁業で

はなく、つくり育てる、養
殖も含め、これまで町の支
援でやってはいるが、それ
が漁業組合自体で養殖事業
に取り組むような組織的な
対応がなかなか厳しいとい
う事があり、模索状態であ
ります。

金武湾がいい観光資源で
あるとの話があるが、ネイ
チャーみらい館のほうで遊
漁船を使つての釣り体験や
ハーリー体験といったもの
は、漁協組合の青年部と連
携して取り組んでいます。

喜瀬武原の金武町入口
へのモニメント
設置について

モニメント建立の計画は

町 長

設置に向けて検討

与儀議員

104号線付

け替え工事が完了し、開通
しております。利用する方
も多くなっているように感
じますが、金武町入口にモ
ニメントの建立の計画は
ないか。

町 長

本町では、屋嘉区

及び中川区に歓迎の塔とし
てモニメントを設置して
おり、喜瀬武原の金武町入
口におけるモニメントの
設置については、恩納村か
らの来町者を迎えるため、
設置に向けて検討してい
きたい。



吉野 潤 議員

介護保険について

要支援1・2を市町村に移行させる案が出ているが

町 長

町への新たな財政負担はなく、地域支援事業等についても、継続していきたい

吉野議員

政府は、「社会保障制度国民会議の審査を踏まえて、社会保障制度の見直しを行う。」と公約しているが、その制度改革によるわが町における影響について伺う。政府の社会制度改革の大きなポイントとして、介護の必要性の低い

要支援1・2の方々を介護保険の対象から切り離し、市町村事業に移行させる案

が出ているが、その事に対しての対応策は、考えているか。

儀武剛町長

介護保険法の改正により、要支援1、要支援2が町に移管された場合、これまで要支援1・2で提供されてきました通所サービスや訪問サービスの予防給付費は引き続き介護保険等で負担され、町への新たな財政負担はありません。また、これまで実施しておりました地域支援事業等につきましても、継続していきたいと考えております。

す。

吉野議員

70歳～74歳医療費の窓口負担を現況の1割負担から段階的に2割負担に移行する考えであるとあるが、その引き上げ分の1割分に対して、町としての対策は考えているか。

町 長 国は、年々増加する医療費や少子高齢化を見据え、将来にわたる安定的な医療制度を堅持するため、窓口負担を1割から2割に移行する事を検討している。本町においても、安定的な医療制度を堅持するためには、医療費の抑制が重要な課題となっており、検診による病気の早期発見、早期治療による重症化の防止に努めていきたい。窓口負担割合の移行は、国の施策である事から、町単独での取り組みは厳しいものがある

町 長

と認識しており、国の動向を注視していきたい。

健康文化の町づくりについて

健康文化の町づくりについて

町として考えは

各種検診の受診率向上が必要。町内医療機関、関係各課、団体等と連携を図る

町 長

吉野議員 昨年度の沖縄県における市町村別生命表（平均寿命調査）において金武

吉野議員

町は、男性が80.0歳で上位から5番目に位置しているが、女性の平均寿命は86.0歳と県内で最下位という残念な結果になっております。この結果を踏まえて、町としていかなる考えがあるか伺う。

町 長 町の平均寿命については、平成17年度の調査と比較すると、男性が40位から7位、女性が13位から41位へと変化している。その背景として、男女ともに各健診率の低い事があげられる。その中でも男性は、保健指導等により生活改善が図られたものと考えてる。今後、各種健診の受診率向上を図る必要があるから、町内医療機関及び新たな地域医療施設、関係各課や各種団体等と連携を図りながら、健康づくりの充実に努めていきたい。

町 長

町 長 町の平均寿命については、平成17年度の調査と比較すると、男性が40位から7位、女性が13位から41位へと変化している。その背景として、男女ともに各健診率の低い事があげられる。その中でも男性は、保健指導等により生活改善が図られたものと考えてる。今後、各種健診の受診率向上を図る必要があるから、町内医療機関及び新たな地域医療施設、関係各課や各種団体等と連携を図りながら、健康づくりの充実に努めていきたい。

行政サービスについて

窓口業務が分散して不便であるが

町 長

窓口の一本化に取り組む

吉野議員

窓口業務が分散してわかりづらく不便であるという町民の声が聞こえるが、その事に対して当局の所見を求めます。

町 長

町としては、窓口を一本化、町民のサービスの利便性が図られるよう取り組む。

吉野議員

行政サービスの充実、歴史認識、両方を加味した行政の考え方があると思うが。

町 長

窓口業務の一本化、歴史の重要さ、この両方を整理すべく努力している。こういった形がベターか見極め対応したい。



仲間 政治 議員

当山記念館の解体について

陳情をどのように

受け止めたか

町 長
庁舎増築に対し慎重
に対応していく

仲間議員 「当山記念館を
存続させる会」からの陳情

をどのように受け止めたか。

儀武剛町長 陳情について

は、平成25年8月13日に3771名分、9月12日に1530名分、町内外から合計5301名分の署名が町へ提出されました。町としては、この陳情を重く受け止め、窓口業務の一本化を進めながら、庁舎増築に対し慎重に対応してい

たい。

仲間議員 文化財保護審議

会の答申を尊重するという教育委員会の見解をどう思うか。

町 長 町としては、當

山記念館は老朽化や耐震性の問題により、活用が困難であると考え、玄関の一部をモニメントとして保存する方向で検討している。今後、教育委員会の回答等については、教育委員会と調整していきたい。

仲間議員 役場庁舎建設について、長期的視野に立ち、後世の使用に耐えうる検討をしてみてはどうか何う。

町 長 現庁舎の執務室は、IT化やOA化により機器の設置スペースが増えた事、権限移譲などにより、業務量が著しく増え、嘱託員等の配置が増えた事など、建設された昭和56年当時では想定されない状況により手狭となっている。このよ

うな状況の解消と、窓口の

一本化による町民行政サービスの向上を推進するため、庁舎の増築に取り組んでいるところ。新庁舎の建築については、今後、検討していきたい。

町民税減税に伴う起債制限について

町民税減税に見合う支出削減は

町 長 予算編成方針の中で、経常経費を削減している

仲間議員 起債があるか。減税との関連は。県との接触があるか何う。

町 長 平成25年度の起債については、借り入れを予定しており、現在、沖繩県と調整を行っている。

仲間議員 非正規労働者の待遇改善を6月議会で検討すると述べたが、その後どうなっているか。

町 長 嘱託員等の待遇改

善については、6月定例会以降も業務の内容や他市町村の状況を考慮し、早期に待遇改善が図られるよう財政検討委員会で審議した。

平成24年7月に報酬を改正した事により、嘱託員などの報酬額は、類似および近隣市町村並みとなっている。しかし、資格を有しない職と国家資格を有する保育士業務等との報酬のあり方について、調査審議を重ねた結果、保育業務については資格を有するという特殊性や類似町村等の保育士職の位置づけを鑑みた結果、改善の必要があると判断し、他の嘱託員との均衡を図るため、その特殊性を加味した報酬へ改正するよう、今議会に条例改正を提案している。休暇の面では、1年あたり10日を限度として、病気休暇を新設し、安定的な報酬を確保することで、安心して働いてもらえるよ

う、改善を図っていききたいと思っている。

仲間議員 町民税減税に見合う、およそ3000万円の支出削減額を具体的に明示していただきたい。

町 長 町は、最小の経費で最大の効果を念頭に置き、簡素で効率的な行政運営を目指し、毎年度作成する予算編成方針の中で、経常経費を削減しており、今後も予算の執行状況を確認しながら取り組んでいきたい。

仲間議員 行政が行う所得の再配分・分配について町長はいかなる考えを持って

いるか、町長の所見を伺う。

町 長 予算編成においては、事業実施計画および毎年度作成する予算編成方針に基づき、町民が平等な行政サービスが受けられるよう、予算の配分を行っている。



外間 慎 仁 議員

景観の保全と

町づくりについて

新開地の景観を

活用した観光は

町 長

社交飲食業組合等と
連携し、取り組む

外間議員

近年、景観の町
づくりという形でいろいろ

な地域で特色ある景観による見て楽しむ観光が盛んに行われていますが、新開地の異文化的な景観を活用した観光町づくりについて伺う。

儀武剛町長

新開地にお
ける町づくりについては、

地域活性化イベント支援事業におけるペインティングなどの実施や、新開地整備事業でのアクティブパーク

広場、道路、街灯等の環境整備を行ってきた。これに伴い、同地区は県内の他地域にはない独特の雰囲気を持った飲食店地域として、形成されているが、昨今、

米軍の基地外飲酒禁止令により、新開地を取り巻く経営環境は厳しい状況にある。今後の新開地の町並みを生

かした方策について、社交飲食業組合等と連携をして取り組んでいきたいと考えています。

外間議員

金武町福花原一
帯の景観の保全と活用につ

いて伺う。

町 長

福花原は、田園風
景が広がり、渡り鳥の飛来

地であり、バードウォッチングの場として活用されて

いる。本町では、福花原一
帯の景観保全の一環として、

億首川プロムナード整備事業にて遊歩道を整備し、億首川に生育する生物やマンガローブを保護するととも

に、環境学習などで活用を図ってきた。今後も、自然

体験学習や環境学習などで継続して活用できるよう景観の保全に努めていきたい。

金武町億首川一帯の 自然環境の保全について

ダム建設に伴う

環境影響調査は

町 長

環境影響調査の対象
ではない

外間議員

金武町億首川一
帯や周辺では、いろいろな

開発や開発計画が進んでいるが、金武町億首川の自然環境について伺う。ダム建設に伴う金武町億首川マンガローブ林にあたる環境影響調査について。

町 長

億首ダムの建設事
業は、環境影響評価法に基

づく面積要件に該当しないため、環境影響調査の対象ではありませんが、北部ダム事務所において、ダム建

設に伴う環境への影響を把握するため、モニタリング調査を行っており、これまでの調査結果では、特段の

変化はないとの事です。

外間議員

赤土流出や汚泥、
水質の改善について。

町 長

赤土の流出につい
ては、億首ダムの完成によ

り、台風や集中豪雨による億首川への土砂の流出が防げるため、水質の変化や生態系への影響は軽減されると思われる。

外間議員

持続可能な保全
と自然再生について。

町 長

億首ダム建設事業
の今後の計画において、ダ

ム右岸側の億首川上流に親水性および自然再生に考慮した、せせらぎ整備が進められる事となっており、自然体験および環境学習等が継続して活用できるような場になると考えている。

金武町の

情報通信網について

光通信の開通時期は

町 長

提供の時期は明確に
できない

外間議員

8月1日より、
金武町において光通信ケー

ブルが開通し、大変喜んでるところではあるが、一部地域だけまだ開通していないという課題、状況がある。一部地域(中川地区)の光通信ケーブルの開通時期の予定はいつ頃か伺う。

町 長

NTT西日本沖繩
支店では、平成25年8月か

ら金武区、並里区、伊芸区へ光回線サービスを開始し、加入者数が順調に増えた後に全地域へ拡大する予定と聞いていたが、新規加入者が予測よりも少なく、中川区、喜瀬武原地域への提供の時期は明確にできないと回答をいただいている。



池原 政文 議員

不妊治療の支援について

支援制度を導入する考えは

町 長

不妊治療全般の費用
助成を実現できるよ
う調整していく

池原議員

平成16年度から

国が実施した、「特定不妊治療費助成制度」に上乗せする形で不妊治療に要する医療費一部の助成事業を独自に実施している市町村の事例もありますが、我が金武町でも治療者の金銭的な負担を軽減し、安心して治療に集中できるような希望の持てる支援制度を導入する考えはないか。

儀武剛町長

不妊治療につ

いては、卵子を体内に残したまま妊娠を試みる一般不妊治療と、卵子を体外に取り出し妊娠を試みる特定不妊治療があります。治療の経過は、一般不妊治療を3年程度実施しても妊娠が望めない場合に特定不妊治療へと進みます。

沖縄県では、平成17年度より、特定不妊治療費の助成を開始し、いくつかの町村においても特定不妊治療の助成を行っております。

町としては、一般不妊治療、特定不妊治療ともに医療費の負担が大きいことや、不妊治療の早い段階から取り組む必要があると考え、不妊治療全般の費用助成を早期に実現できるように調整していきたい。

池原議員

不妊治療につい

ては、国が実施している特定不妊治療費の助成制度があるが、一般不妊に係るものについてはなく、健康保

険も適用できず、自費で負担しなくてはならないと非常に厳しいものがあります。今、国の検討委員会では若いうちに集中させ、補助をやるという事がメリットがあると言われていますが、その件についてどう考えるか。

仲田博保健康福祉課長

現状

として、特定不妊治療の助成のみという形になっており、沖縄県でも一般不妊治療に対しては助成制度がない。金武町でも一般不妊治療を重視しながら、特定不妊治療に移行するという形で、妊娠を試みている方々への精神的、経済的な負担を軽減できるよう取り組みたいと考えています。

町 長

不妊治療におい

て、どういった形がベストなのか、まとめるように指示をしている所であり、またまり次第、金武町が先んじてできるような体制をとっていききたい。

人材育成について

多くの方に与え

金額も上げるべきは

教育長

事務局として理事に
は申し上げたい

池原議員

金武町育英会は、

経済的な負担により就学が困難なものに対し学資を貸与し、人材を養成する事を目的に設立されているが、過去3年間の各年度別の応募者と採用者の人数について伺う。

比嘉貴一教育長

平成22年

度は応募が22人、採用15人。平成23年度は応募が26人、採用15人。平成24年度は応募が19人、採用13人。

池原議員

貸与生の応募条

件と選考方法について伺う。
教育長 応募条件は、金武町に本籍または、住所を有する者、学業成績が優秀である者、経済的に学資の負

担が困難である者。選考方法は、父母の所得や成績などを勘案し、理事会において選考されています。

池原議員

設立時からの貸

与金額の改定について伺う。
教育長 昭和36年の法人設立時は30ドル以内、その後、何度か改定され、平成2年以降は3万5000円以内となっています。

池原議員

人材育成の観点

から、多くの方々にチャンスを与え、経済的負担をかけないのいいのでは。金額も上げ、今の時代に即した金額に上げていく事がないのではないか。

教育長

金武町育英会は財

団法人ですので、こうするというのが、そういう意見があったという事は事務局として理事には申し上げたいと思います。



大城 政 光 議員

海岸整備について

屋嘉海岸沿いの整備は

町 長
県と調整を行っている

大城議員 屋嘉本部落海岸

護岸沿い管理道路の整備について伺う。

儀武剛町長

屋嘉海岸沿い

の管理道路の整備については、背後にある国有地を利用

して、屋嘉海浜公園整備

計画の中で検討していたが、

予定地一帯は海岸保全区域

および港湾隣接地域に指定

されていることから、指定を

除外しての整備が厳しい状

況です。さらに、国有地内

には、個人の建物等の一部

が建てられている現状もあり、国と個人との境界を明確にする事が困難な状況となっています。現在、指定された区域を除外せずに背後地の占有許可を受け、整備が可能か県と調整を行っているところでは

大城議員 15年ぐらい前は、非常に明るい海岸の環境があったが、今では子供たちがたむろしたりと、暗い形で残っている。町はいろいろなところにお金をかけているが、こういう小さな事業で地域環境を整備していくという事を考えていただきたい。今後、本当にやれるのか。

宝正徳建設課長 個人の建物が侵害している部分があり、町としては、それを外した形で整備できないかと、県と協議しています。我々の要望が県のほうに伝わるような形で、今後も調整を図っていききたい。

大城議員 屋嘉漁港の浚渫

について伺う。

町 長 金武湾港屋嘉地区

の船揚場の土砂堆積の浚渫については、平成26年度に実施できるよう県と調整する。

大城議員 来年度にという

話ですが、大きな事業ではないが、大掛かりにやるつもりですか。

池原均産業振興課長 県の

予算がどうなっているか確認はしていないが、新たな予算が必要なら平成26年度です。県が今の予算の中で対応できるのであれば早急に対応していただきたいという形です。

大城議員 町でできる事業

ではないのか。

産業振興課長 港湾施設で

すので、県のほうで維持管理しなければいけない。

畜産振興について

※ 畜舎のウインドレス化は

町 長 養豚農家の皆さんの意向を確認し、検討する

大城議員 畜舎のウインド

レス化について、105億資金と呼ばれている畜産振興のための金があり、平成27年以降は国に返す事になっている。この資金の活用はできないか。

町 長 沖縄県の畜産振興

のために活用される105億円の資金については、ウインドレス豚舎等の事業が実施できるものとなっております。事業実施主体は農事組合法人、農業法人等で、実施期間は平成27年までとなっている。事業の内容については、市町村や農家等に説明会が開催されている。本町において新たな畜舎の建設については、地域住民の理

解が必要であり、今後、養豚農家の皆さんの意向を確認し、検討していきたい。

大城議員 養鶏の場合、県の一括交付金の活用も検討できないか。

町 長 沖縄振興特別推進

交付金は、沖縄振興に資する事業などであり、沖縄の特性に起因する事業等が対象となっている。事業採択要件については、県または市町村が事業主体となっており、原則として既存の補助事業があるものは交付金を充てることができないとの回答となっている。養鶏に関しては、他の補助メニュー制度があるため、一括交付金の活用については厳しいものとなっている。

※ウインドレス畜舎

窓を無くした畜舎。野鳥を介した病気の防止や、脱臭装置による悪臭対策が図られる。



安富信武 議員

當山紀念館の 存続について

署名と陳情書が
提出されているが

町 長
重く受けとめ、慎重
に対応したい

町 長

重く受けとめ、慎重
に対応したい

安富議員

當山紀念館を存続するために町民運動がおこっており、署名と陳情書が提出されています。町民

そして県内外の5300人余りの意志が示されているが、見解は。

儀武剛町長

町としては、この陳情を重く受けとめ、窓口業務の一本化を進めながら庁舎増築に対し、慎重に対応したい。

安富議員

修復は十分に可

能であるという専門家の意見が確認されている。この事について、見解は。

町 長

町では、平成20年度に老朽化の状況を調査するため、耐力度調査を実施したが、耐力度点数が基準

の4500点を下回る2369点という結果の報告を受けており、今後の使用には耐えられないものと考えている。

安富議員

雄飛の森の現在の管理体制や運営費について伺う。

町 長

雄飛の森は並里区有地であり、並里区と賃貸契約を締結し、賃貸料を支払っています。維持管理については、トイレの水道料、街灯の電気料を支払っており、雄飛の森の清掃については、庁舎清掃業務委託者に行わせている。

安富議員

金武町においても、雄飛の森の拡張、記念碑の充実、資料館の併設が

求められているが。

町 長

町では、これまで移民資料館について、企画課、教育委員会で検討してきた経緯がある。これまで

の検討を踏まえ、関係機関と協議していきたいと思う。

安富議員

文化財建造物的価値、歴史資料的価値をどのように認識しているか。

町 長

昭和初期の鉄筋コンクリートであり、八角窓やアーチ型の玄関など、モダンなデザインを取り入れた価値あるものと認識し、

海外移民者の送金などにより建設され、村民に利用されてきた経緯があり、そういう認識をもって

児童生徒の学力について

全国学力学習状況調査

結果の見解は

教育長

沖縄県の平均正答率と比較した場合、差が生じている

安富議員

沖縄県学力到達度調査および全国学力学習状況調査の実施について、

教育長は、このテストの制度に賛同しているか。結果について、積極的に活用すべきと考えているか伺う。

比嘉貴一教育長

沖縄県学力到達度調査および全国学力学習状況調査の制度については、賛同するものであり、その結果についても積極的に活用すべきと考える。

安富議員

平成25年度全国学力学習状況調査結果は、

県単位比較において沖縄県は最下位と報道されている。金武町内の小・中学校も大変厳しい結果です。教育長の見解を伺う。

教育長

全国の各小学校の結果は公表されていないため、金武町の小中学校が全国でどの順位にあるかは明確になっていないが、沖縄県の平均正答率と比較した場合、町内小中学校の平均

正答率は差が生じているが、学校別にみると、国や県の平均を上回る科目もある。今後も本町における課題について分析し、その課題解決に向けて取り組み学力向上を図ります。

安富議員

学力向上を目指す際、教育長はどのように目標を設定し、リードしていくのか。

教育長

教育委員会としては、平成24年度から5力年で全国水準に高める事を目標に学力向上推進のための構想を策定し、学校に示している。学校は、その構想をふまえ、学校の課題と照らし合わせ、その評価を年2回行い、進捗状況と成果を把握し、次年度の施策に反映させています。



大城一之 議員

ギンバル訓練場跡地への
ホテル建設について

開業までの工程は

町長 平成26年をめどに工事着手し、平成28年の開業を目指している

大城議員 ギンバル訓練

場跡地に、米ヒルトンワールドワイドが大型リゾートホテルを運営すると報道がありました。運営ホテルの詳細および、施設の詳細について伺う。

儀武剛町長 ヒルトンワ

ールド社は、世界90カ国に3900以上のホテルを持つ、国際的な企業です。ホテルの概要は、地上9階建て、客室190室の予定です。

大城議員 開業までの工程について伺う。

町長 現在、沖縄金武リゾート株式会社の開発申請の手続きを進めており、町で書類を審査中です。早期の開発許可取得に向け、町も協力している所であり、平成26年をめどに工事着手し、平成28年の開業を目指している。

大城議員 雇用について伺う。

町長 デイジャヤ社の雇用計画は約800人が見込まれ、この雇用計画は、運営者にも引き継がれ、デイジャヤ社を通じて詳細な雇用内容等を確認中です。

大城議員 人材育成について伺う。

町長 町とデイジャヤ社は、誘致条件のひとつとして、人材育成について合意しています。人材育成については、運営者にも引き継がれ、デイジャヤ社を通じ

て詳細な雇用内容等を確認中です。

英語教育について

高校生に対する
環境はどう思うか。

教育長 教育委員会の認識が薄く、対応を検討していきたい

大城議員 小学生に対する英語教育について伺う。

比嘉貴一教育長 学習指導要領の改定に伴い、平成23年度から5、6年生に外国語活動が新設されている。1年生から4年生については、町の取り組みとして外国語指導助手を活用し、英語に慣れ親しむ機会をつくっている。

大城議員 中学生に対する英語教育について伺う。

教育長 英語のコミュニケーション能力の育成に努め、英語検定の受験対策の実施

や、ハワイカポレイミドルスクールとの姉妹校交流事業を実施するなど、英語教育の充実を図っている。

大城議員 高校生に対する英語教育について伺う。

教育長 海外ホームステイ事業を通し、幅広い視野と国際感覚を身につけ、国際社会で活躍できる人材の育成に向け取り組んでいる。

大城議員 勉強の環境を与えるという事が少ないのではないかと思うが、高校生に対する英語環境はどうなっているか。どう思うか。

教育長 英語教育に対して、教育委員会の対応が今の所薄いという事は事実と認識しており、何かしらの対応を検討していきたい。

町への転入手続き
について

手続きの方法は

大城議員 転入手続きの方法について伺う。

町長 転入手続きについては、住民係窓口において、住民基本台帳法等に基づき、必要事項を記入した住民異動届と、前住所地で交付された届出証明書を提出されたうえで、届出人の本人確認を行い、住民基本台帳システムに転入情報を入力し、手続きが完了します。

大城議員 手続き後に配布される資料はあるか。住民生活課で渡せるものは一括し、袋に入れておけば渡しやすいと思う。今後、検討していただきたいが。

金城健住民生活課長 今後、早めに各課に投げかけ、転入者に渡してほしいものがあれば、窓口で備え渡していきたい。早めに調整に入りたいと思う。

町長

住民係窓口において、住民基本台帳法等に基づき行う



崎 浜 秀 幸 議員

當山紀念館の 取り扱いについて

保存する考えは

町 長
庁舎増築に対し、慎重に対応したい

崎浜議員 當山紀念館の歴史や文化財的価値については、金武町文化財保護審議会の答申により、ご承知のとおりである。その答申を受け、當山紀念館を修復し、保存していく考えはないか伺う。

儀武剛町長 町としては、これまで受けた陳情なども含め、重く受け止めていきます。窓口業務の一本化を進めながら庁舎の増築に対し、慎重に対応していきたい。



當山紀念館

崎浜議員 庁舎の増築について、少し図面の変更をし、當山紀念館に触れないようできないか。計画を進める中で検討する余地はあるか。

町 長 町民の利便性という事も考えながら、當山紀念館に対する熱い町民の思いがあるという事ですので、両方うまく加味した形での対応を慎重にやっていきたいと考える。

町民税10%減税の 中止について

中止する考えは

町 長
国の動向を注視しながら検討する

崎浜議員 平成24年4月1

日より金武町は、所得割標準税率未満採用団体となっている。そのために、行政改革を余儀なくされている。今後、各課の事業計画、職員の就業意欲、住民サービスの低下等懸念されるところであるが、10%減税を中止していく考えはないか。

町 長 町民税10%減税については、自治体による標準税率の設定を条例の中で設置する裁量が認められており、税率の制約はない。起債借り入れ等において、世代間の負担の公平への影響について、減収額を上回る行政改革が求められおり、町としては、簡素で効率的

行政運営を目指し、毎年作成する予算編成方針の中で経常経費の削減を行ってきたが、起債の許可基準が厳しくなってきたので、

今後は国の動向を注視しながら検討していきたい。

崎浜議員 3月に、町民の

声に耳を傾けます、恩恵を受けていないという声があればやめてもいいようなニュアンスの答弁をされているが、住民の声を聞くための調査は行われたか。

町 長 町民税10%減税は、どこの市町村でも喜ばれるものと思っており、不公平感があるという認識がわからない部分があるので、その辺の調査を、どういった調査方法があるかなど、担当課で考えていただき、調査を指示していきたい。

北部病院の19床の病床 ベッドの移設について

北部病院の経営に影響は

町 長
影響はないと報告を受けている

崎浜議員 北部病院は、金武町、宜野座村の老人医療に貢献している病院であると認識している。その病院から19床のベッドを移設する事は、北部病院の経営に大きく影響を与える恐れがあると思われるが、町長の考えを伺う。

町 長 地域医療施設の19床については、運営予定者の医療法人はくと会と協議を重ねた結果、既存の北部病院から移す事の承諾を得ている。ほくと会からは、病床減に伴う既存の病院経営への影響はないとの報告を受けている。

その他の質問
○キャンプハンセン内へ
出入りする関連車両に
ついて



嘉数義光 議員

當山紀念館の取り扱いについて

文化財保護審議会からの建議をどう判断したか

町長

玄関部の一部をモニメントとして保存する

嘉数議員

「雄飛の森を守ろう」と町内に立て看板があるが、町長はこの森を壊して役場を増設するつもりなのか。

儀武剛町長

町では、雄飛の森を取り壊すことについては考えていない。

嘉数議員

銅像を移動するのか何う。

町長

町では、庁舎増築の計画によって当山久三の

銅像を移動する事はありません。

嘉数議員

銅像の頭近くに、町長室をつくる予定なのか。

町長

詳細設計が決まっていませので、雄飛の森の景観を損なわないように配慮し、執務室の配置についても計画の中で検討しています。

嘉数議員

文化財保護審議会からどのように建議されたか何う。

町長

文化財保護審議会は、當山紀念館を保存、活用すべき旨の答申をしています。

嘉数議員

どう判断したか何う。

町長

文化財保護審議会の答申を尊重するという教育委員会の見解については、當山紀念館は老朽化や耐震の問題により、活用が困難であると考え、玄関部の一部をモニメントとして保存する方向で検討した。

嘉数議員 紀念館の建設に至る変遷と、当時の新聞の内容を何う。

町長 當山紀念館は、當山久三の銅像建立記念事業の一つとして、海外移民等の寄附金により整備されたものです。当時を伝える新聞記事が、金武区が編纂した、金武区史戦前新聞集成に記載されており、「移民村に紀念館、先覚者當山翁を記念し」と見出しされており、当時の金額で約3000円で建設されたとい

ります。

嘉数議員 並里区との土地賃貸契約の内容を伺います。

町長 當山紀念館の用地として、昭和47年に契約を締結し、5年ごとに更新しており、その賃貸面積は21135㎡、年間賃貸金額は36万5635円となっている。

嘉数議員 残決指定を知っているか何う。

町長 残欠とは、一部が欠けて完全な状態ではないが、歴史的な価値を認められる事により、文化財として指定されたものであると認識している。

文化財指定について

文化財行政を

どう考えているか

教育長

町民の郷土に対する認識を高め、文化の向上に資する事を目的としている。

嘉数議員

平成6年から文化財の指定は一件もないが、文化財行政をどう考えているか何う。

比嘉貴一教育長

金武町文化財保護条例に基づき、地域内に所在する文化財の保護および活用を図り、町民の郷土に対する認識を高め、文化の向上に資する事を目的としている。今後、町指定文化財の維持、補修お

よび活用等を行いながら、新たな指定に向けた調査検討、手続きを行います。

嘉数議員

碑・銅像・紀念館(残決指定)および資料館を関連文化財群に推薦する考えはないか。

町長

文化財の保護に関する事は、地方教育行政の組織および運営に関する法律第23条第1項第14号に教育委員会の業務であると規定されている。文化財の指定や推薦については、教育委員会の所管として業務に取り組んでおります。町としての推薦については、教育委員会と意見交換をしたと考えています。



伊 芸 孝 議員

児童生徒の安全安心の 家庭・学校生活について

※
メーリングサービスの導入は

教育長

検討し、導入に向け
取り組みたい

伊芸議員

学校と保護者と、
児童生徒の連絡はどのよう
な方法で行っているか。

比嘉貴一教育長

各学校と
も学校だより、学級だより
などの文書を児童生徒を通
じて保護者へ配布している
ほか、学校のホームページ
等を活用し、学校行事等に
ついてお知らせをしています。
また、緊急時には直接
保護者へ電話連絡をとる方
法や、有線放送を利用する
方法等で連絡を行う体制を

とっています。

伊芸議員

メーリングサー
ビスというシステムは、非
常に便利な方法と思うが、
導入の考えは。

教育長

学校だよりを児童
生徒を通じ、父兄に配布し
ているが、児童生徒が渡さ
なければ届かない。有線放
送も、加入率が落ちてきて
います。特に、携帯電話を
持っている方は、有線放送
固定電話もなかなか持っ
ていない状況です。そうい
う方たちにかに情報を伝え
るかですが、メールですと
確実性はあると思います。
一般エリアメールというも
のがあり、これは登録する
しない関係なく、アンテナ
の近くにいれば全員に入る。
災害時にはそういうメール
を。学校の場合には、議員

※メーリングサービス

特定者へのメール配信
サービス。

がおっしゃったエリアメー

ル。登録した人へのみ一斉
に情報が行くという機能が
あります。エリアメールに
もいろいろな会社があると
聞いており、コスト面や機
能がいいものというのを検
討しながら、導入に向け取
り組みたい。

ギンバル訓練場跡地

利用計画について

ホテル誘致の進捗は

町 長

平成26年をめどに工
事着手し、平成28年の
開業を目指している

伊芸議員

工事の進捗状況
はどうなっているか。

儀武剛町長

地域医療施設
ヘルスケアセンター、フィッ
ティングセンター、海洋療
養児童リハビリセンターの
建設工事を施工中です。こ
れまで、基盤工事の変更な
どはありましたが、10月に
は完成する予定となってい
ます。幹線道路、補助幹線

当山記念館について

進捗状況は

町 長

6月定例会にて、玄
関部分のモニユメン
ト保存費用を補正予
算に計上

伊芸議員

その進捗状況は
どうなっているか。

町 長

当山記念館ついて
は、平成24年6月定例会に
おいて、調査、リース費用
の債務負担行為、記念館解
体費等を補正予算に計上し、
全員協議会等で計画の説明
がなされています。平成24
年11月19日に、教育委員会
に当山記念館の取り扱いに
ついて意見を伺い、平成25
年3月19日に保存活用を要
望する旨の回答を受けてい
る。その後、平成25年6月
定例会において、当山記念
館の玄関部分のモニユメン
ト保存費用、雄飛荘代替施
設調査費用を補正予算に計
上しました。



仲間昌信 議員

役場増築は断念すべきについて

増築を断念すべきでは

町長 住民サービスの向上につながるかと考え、増築を計画している

仲間議員 建物のリース代として、毎年5000万円程度の町民税を支払い続けるのか。

儀武剛町長 リース額は、年間約4095万円を10年間支払う計画です。

仲間議員 建物の構造はどうなっているか。

町長 建物の構造は、重量鉄筋構造を計画している。

仲間議員 建物の法定耐用年数はどうなっているか。

町長 法定耐用年数は、38年です。

仲間議員 行政のムダを省くためにも、増築を断念すべきと思うが。

町長 町では、本庁舎以外に、社会福祉・児童福祉業務が保健福祉課庁舎で、保健予防・高齢者福祉・包括支援センター業務が保健福祉センターで、水道業務が水道課庁舎で分散して行われており、窓口業務を一本化して利便性を高める事が、住民サービスの向上につながるかと考え、庁舎増築を計画している。

役場移転計画の推進について

役場移転を推進すべきでは

町長 現時点ではできない

仲間議員 増築とか、現状しのぎの行政をせずに、広大な土地を求めて、町民の

十分なコンセンサスを得ながら計画的に役場移転を推進すべきではないか。

町長 現庁舎の執務室は、ＩＴ化やＯＡ化により機器の設置スペースが増えた事、権限移譲などにより、業務量が著しく増え、嘱託員等の配置が増えた事など、建設された昭和56年当時では想定されない状況により手狭となっている。このよう

な状況の解消と、窓口業務の一本化による町民行政サービスの向上を推進するため、庁舎の増築に取り組んでいるところです。新庁舎の建築については、今後検討していきたい。

仲間議員 記念館存続の署名運動をする中でも「増築はダメ、新しい広大な土地を求め新築するのであればいい」という話もありました。その件について、町長はどう思うか。

町長 この建物自体も耐

用年数が残っており、その間は新たな庁舎を建てる事は、国からの予算も入らず対応ができない。今やらなければならぬ事務を推進するために、増築しなければならぬ。あと15年後には、移転も含めた開発ができると思うが、現時点ではできない。

雄飛の森整備計画の推進について

移民発祥の地整備計画を行ってはどうか

町長 移民発祥の地整備計画は考えていない

仲間議員 移民発祥の地整備計画を行い、世界観光につなげるように推進発展を願うが、町長の考えを伺う。

町長 雄飛の森整備計画について、移民発祥の地整備計画は考えていないが、教育委員会において、移民・

民俗等の資料を展示する資料館を検討しており、現在、資料館の建設に向けて、用地や財源の確保等に取り組んでいるところです。

仲間議員 當山記念館を存続させる会より、陳情書(署名簿を含む)がありました。が、町長の考えを伺う。

町長 當山記念館を存続させる会から、當山記念館の存続を要望する陳情について、町内外から合計5301人分の署名が町へ提出された。町としては、この陳情を重く受け止め、窓口業務の一本化を進めながら、庁舎の増築に対し、慎重に対応していきたいと考えている。

平成25年 第5回 金武町議会定例会

平成25年第5回定例会を、9月17日から10月4日までの日程で開催されました。各会計の補正予算や工事請負契約、物品の取得についてなどの議案が上程され審議を行った。一般質問には、12名の議員が登壇した。

また、平成24年度各会計決算の認定等が執行部から提出され、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し審議を行った。

議決結果については、下記のとおりです。

平成24年度 各会計の決算状況

一般会計

歳入	歳出	差引額
101億7,224万8,000円	97億8,642万5,000円	3億8,582万3,000円

有線放送電話事業特別会計

歳入	歳出	差引額
2,881万7,311円	2,708万7,718円	172万9,593円

国民健康保険事業特別会計

歳入	歳出	差引額
20億6,944万7,400円	20億2,128万9,263円	4,815万8,137円

後期高齢者医療特別会計

歳入	歳出	差引額
1億2,704万1,832円	1億2,645万69円	59万1,763円

金武町水道事業会計

水道事業収益	水道事業費用	資本的収入	資本的支出
3億150万7,641円	2億8,134万6,309円	3,958万291円	7,265万821円
平成24年度利益剰余金1,847万6,880円は、減債積立金へ積立て。			

屋嘉地区簡易水道事業会計

水道事業収益	水道事業費用	資本的収入	資本的支出
3,205万4,043円	2,884万5,319円	363万7,917円	973万2,167円
平成24年度利益剰余金291万7,074円は、減債積立金へ積立て。			

平成25年第5回金武町議会定例会附議案件処理結果

件名	議決結果
平成25年度金武町一般会計補正予算(第2号)	可決
金武町財政調整基金の処分について	可決
平成25年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号)	可決
金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
工事請負契約締結について(金武町立中央公民館大ホール照明設備改修工事(調光装置))	可決

件 名	議決結果
工事請負契約締結について(並里地区かんがい施設整備工事(1工区))	可 決
工事請負契約締結について(並里地区かんがい施設整備工事(2工区))	可 決
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水事業管路工事(1工区))	可 決
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水事業管路工事(2工区))	可 決
工事請負契約締結について(並里・金武(第二期)地区農業集落排水事業管路工事(3工区))	可 決
工事請負契約締結について(ふるさとづくり整備事業 補助幹線道路(2工区))	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 病院情報システム一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 超音波・MRI一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 X線TV・一般撮影装置一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 超音波・CT・検体検査装置一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 事務備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 眼科備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 医療備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 マンモグラフィー・内視鏡一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 調剤備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設 骨密度測定装置一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 ヘルスケアセンター撮影機器一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 ヘルスケアセンターリハビリ・運動療法備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 ヘルスケア医療備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 ヘルスケアセンター事務備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 フィットिंगセンター義肢装具製作機械一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 フィットिंगセンター工場機械一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 フィットिंगセンター研究開発機械一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 フィットングセンター事務備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 海洋療法児童リハビリセンター海洋プログラム備品一式購入)	可 決
物品の取得について(ふるさとづくり整備事業 海洋療法児童リハビリセンター療育プログラム備品一式購入)	可 決
金武町固定資産評価委員会委員の選任について	可 決
固定資産評価員の選任について	可 決
平成24年度金武町一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
平成24年度金武町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
平成24年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
議員派遣に関する決議	可 決
当山記念館の修復・復元を求める陳情書	不採択

平成25年 第6回金武町議会臨時会

平成25年第6回臨時会を、11月5日に開催した。金武町育英会に関する議案や、工事請負契約について審議を行い、全会一致で可決された。
議決結果は下記のとおりです。

平成25年 第6回金武町議会臨時会附議案件処理結果

件 名	議決結果
平成25年度金武町一般会計補正予算（第3号）	可 決
負担付き寄附の受け入れについて	可 決
金武町育英資金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	可 決
工事請負契約締結について（金武町防災情報システム整備工事（第1期））	可 決

沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会

10月30日（水）に本部町立中央公民館大ホールにおいて、沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。

講師に、立命館大学政策科学部教授の平岡和久氏、沖縄県企画部長の謝花喜一郎氏が招かれた。平岡氏は「道州制と町村自治を考える～道州制・アベノミクス・地方交付税廃止の行きつく先～」、謝花氏は「鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進検討業務調査結果の概要について」を講演した。



傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

12月定例会は、12月17日(火)開会を予定しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。



金武町議会事務局

有線放送 8-2292

NTT 098-968-2292

FAX 098-968-6274